

| | | |
|------------|-------|----|
| ホームページへの掲載 | | |
| 済 | 3月19日 | 掲載 |

岐阜県立各務原高等学校

学校長 居波 裕
学校住所 各務原市蘇原新生町2-63 電話 058-383-1015

- 1 会議の名称 岐阜県立各務原高等学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|----|-------|-----------------------|
| 委員 | 小林 孝年 | 地域住民代表（自治会長） |
| | 鈴木 英己 | 関係機関等代表（各務原市立中央中学校長） |
| | 園部 泰敏 | 企業関係者（(株)三敬代表取締役社長） |
| | 福田 尚巳 | 地域住民代表（各務原市役所いきいき楽習課） |
| | 堀 善子 | 地域住民代表（ふるさと教育アドバイザー） |
- （委員名は五十音順）
- | | | |
|-----|-------|--------|
| 学校側 | 居波 裕 | 校長 |
| | 林 昭男 | 教頭 |
| | 田中 誠二 | 教頭 |
| | 中村 敏徳 | 事務長 |
| | 関谷十糸子 | 教務主任 |
| | 松久 潤 | 生徒指導主事 |
| | 原 裕子 | 進路指導主事 |
- 3 会議の目的 岐阜県立各務原高等学校評議員会設置要綱に基づき、本校の教育方針と学校課題を説明し、本校の教育への提言を受ける。
- 4 会議の開催 令和3年2月8日(月)～2月19日(金)
書面開催
- 5 会議の概要 令和2年度の事業報告、評価、課題について資料を提示した後、本校へのご意見、ご提言をいただく。
- 生徒及び保護者対象アンケートの結果について
 - 情報モラル調査の結果について
 - 各分掌による自己評価について
 - 教務部
 - 生徒指導部
 - 進路指導部
 - 特別活動部
 - 保健厚生部
 - 図書・情報部
 - 教育相談部
 - 渉外部
 - 地域課題探究学習について

(1) 生徒及び保護者対象アンケートの結果について

- 意見 1 良い項目が多くあり、特に問題ないと思う。手厚い対応をしていると感じた。
- 意見 2 教職員の細やかな日々の努力が生徒、保護者に届いていると思う。今後も「すぐメール」を活用し、コミュニケーションとともに情報共有等を図り、学校、生徒、保護者の連携をお願いしたい。

- 意見 3 昨年度より評価がよくなっている項目が多いことは、指導の成果である。アンケート結果を各分掌で分析していることも良い。生徒の回答に「わからない」が見られるが、働き方改革のように生徒にとってはわかりにくい内容だから「わからない」としているのか、理由が知りたい。

(2) 情報モラル調査の結果について

- 意見 1 長時間使用しすぎている生徒に対して、使い過ぎのリスクを理解してもらうような取組が必要だと思う。
- 意見 2 今のコロナ社会において、大人も子供もネット依存になる要素がたくさんあると思う。大人も含め、ルールやマナーを学ぶ必要があると感じた。
- 意見 3 情報モラルの指導は今後も重要なことであり、結果の分析を指導につなげていけるとよい。

(3) 各分掌の自己評価について

- 意見 1 (教務部)
・確かな学力をつけるために実施している朝学習がB評価なので、もう少し実りのある時間帯になるとよいと思う。
・習熟度別授業の実施は個に応じた学力の育成にもつながり、大変だが継続していただきたい。
・学び直しの指導があることはとてもありがたい。
- 意見 2 (生徒指導部)
・いじめや差別に対して今後も重点的に指導していただきたい。
・今のコロナ社会を考えると、生徒の心のケアに重点を置く必要性もあると思う。
・全職員の共通理解のもとで行われた指導がC評価というのは少し残念なので、早期に改善してほしいと思う。
- 意見 3 (進路指導部)
・上位者への指導の徹底や補習の開講等メリハリのある改善策を出しているので良いと思う。
・特別な状況の中、教職員の努力する様子を感じた。
・生徒にとって「自己実現ができた」といえる高校の出口であってほしい。
- 意見 4 (特別活動部)
・コロナにより今年度の活動自粛はやむを得ないと思うので、総合評価はBまで上げてよいと思う。
・今年度はどうにもならないことが多かったが、その中でも工夫して行事を行っていることが素晴らしい。
- 意見 5 (保健厚生部)
・危機管理マニュアルの見直し、徹底は迅速な対応をされているので、とても良いと思う。
・心も環境もきちんと整理されていると、自然に笑顔が多くなると思う。
・A評価が多いのは実践の成果であり、とても良いと思う。
- 意見 6 (図書・情報部)
・コロナにより貸し出し冊数は減ってしまったと思うが、自宅で過ごす時間が多くなったため、推奨図書を紹介したり読書調査を行ったりして、読書をするこ

とを勧めてほしいと思う。

- ・芸術鑑賞など開催方法の工夫は必要となるが、ぜひ本物の素晴らしさを発信していただきたい。

意見 7 (教育相談部)

- ・教職員以外ともつながりを多く持てる現代社会なので、1日も早く相談の扉を叩ける「仕組みづくり」が必要だと考える。
- ・1年生の初期段階でコロナによる休校があったため、その後生徒がなじめたのが気になる。適切な時期に適切な相談が受けられるよう令和3年度の新入生には早い段階で相談先を知らせてあげてほしいと思う。
- ・グループエンカウターの計画がされていたこと、定期的な心のアンケートの実施、スクールカウンセラーによる教職員研修が実施されたことがよい。

意見 8 (渉外部)

- ・コロナにより仕方がないが、従来の直接的なつながりだけでなく、ICTなどの活用による間接的なつながりも模索していくしかないと思う。

(4) 地域課題探究学習について

意見 1 コロナ禍にあってよくやれていると思う。この探究型学習の実践は、AO入試などにおける小論文や面接に必ず役立つと思う。また、学校の特色づくりの1つになると思う。生徒が自主的にできるように、また教職員の負担が増えないよう地域と生徒の関係作りがうまくいくような方法、支援を考えていくとよいと思う。

意見 2 今後も高校生の柔軟でユニークな発想でまちが面白くなる可能性が大きいと考える。生徒が書いた小論文に心を打たれた。

意見 3 コロナによる休校期間中にも実施したことが素晴らしい。また、生徒アンケートでも肯定的な回答が多く、取組が「自分づくり」につながっていることがわかる。

6 会議のまとめ 評議員の皆様から、貴重なご意見やご提言をいただいた。令和3年度の学校運営に活かしていきたい。